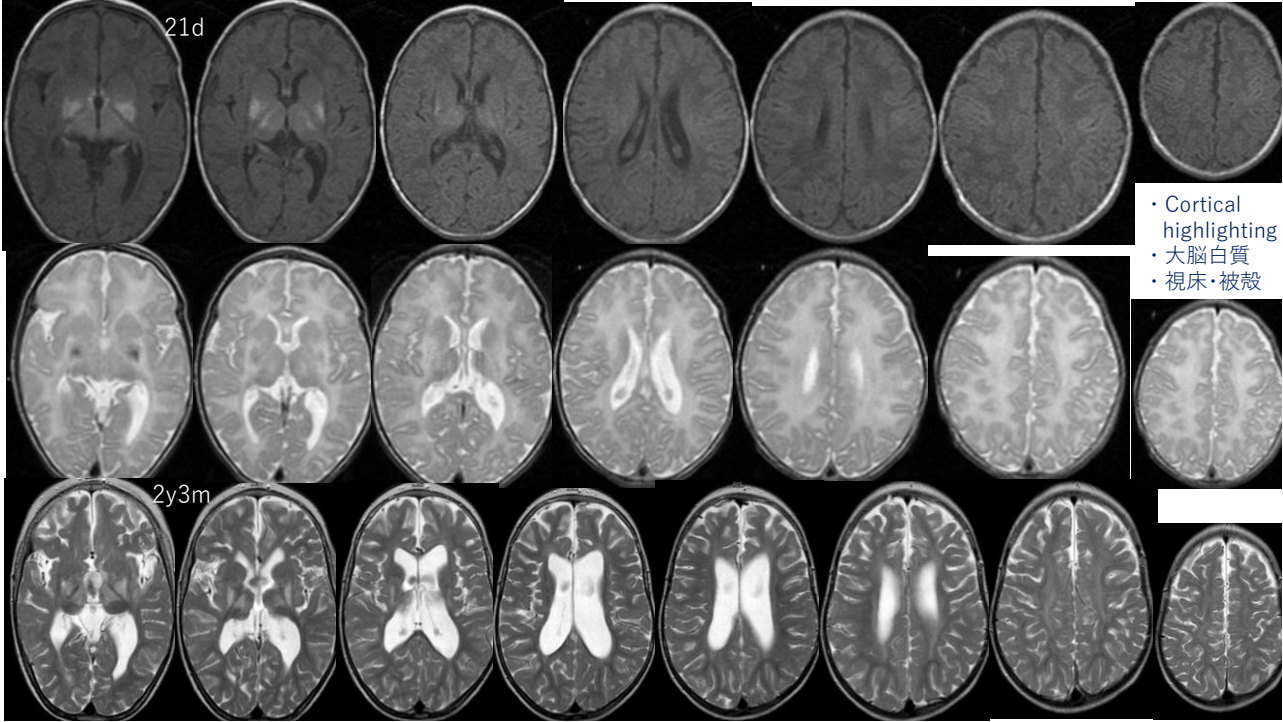
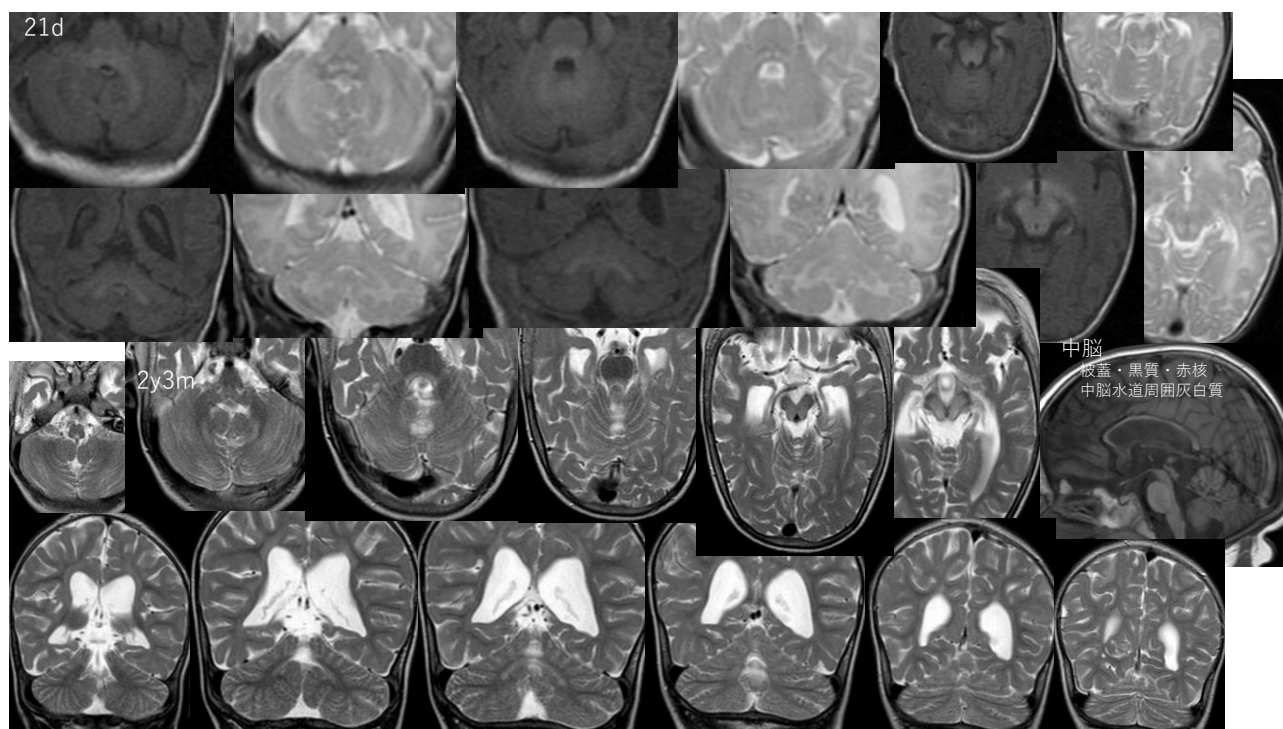




1



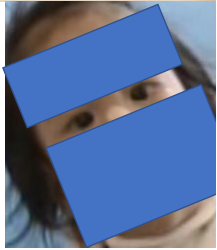
2



3



4

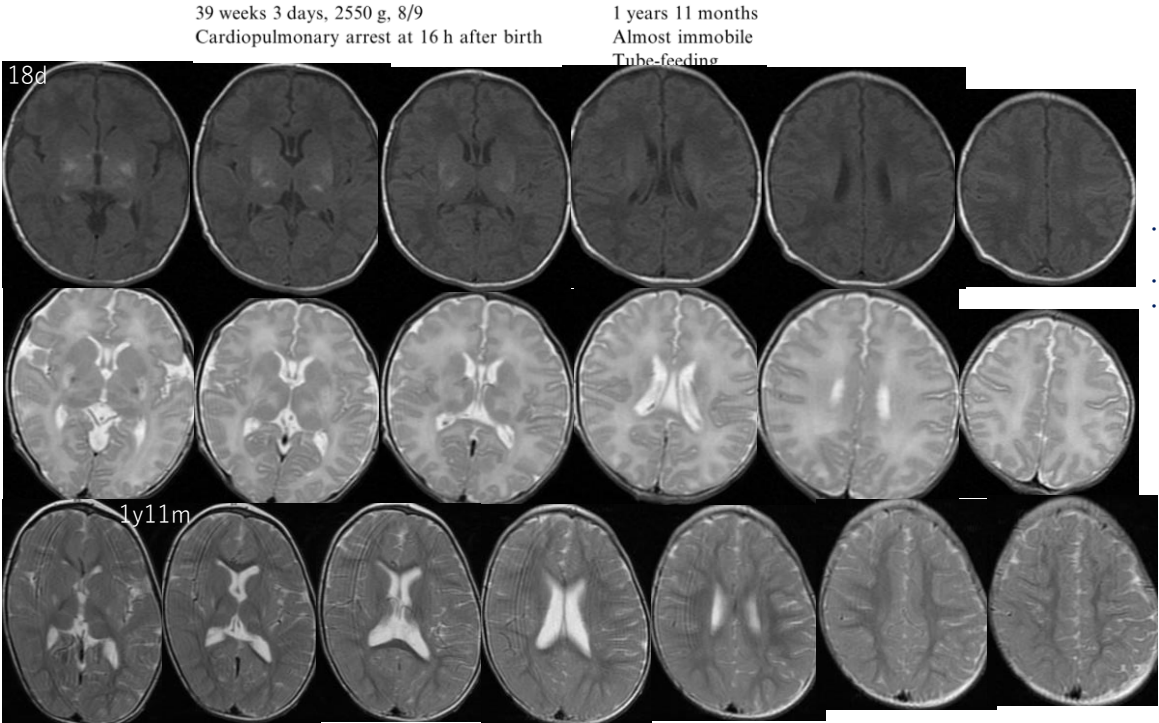


- ・股軽屈曲・内転・膝軽屈曲・足軽背屈で固まる。
- ・両股屈曲、両股膝少し屈曲、左肩少し外転・肘軽屈曲の動きあり
- ・頸体幹伸展で固まり、そこから反りあり
- ・開口で表情筋無動
- ・股内転で股膝伸展して固定
- ・肘伸展で上肢前下出して固定

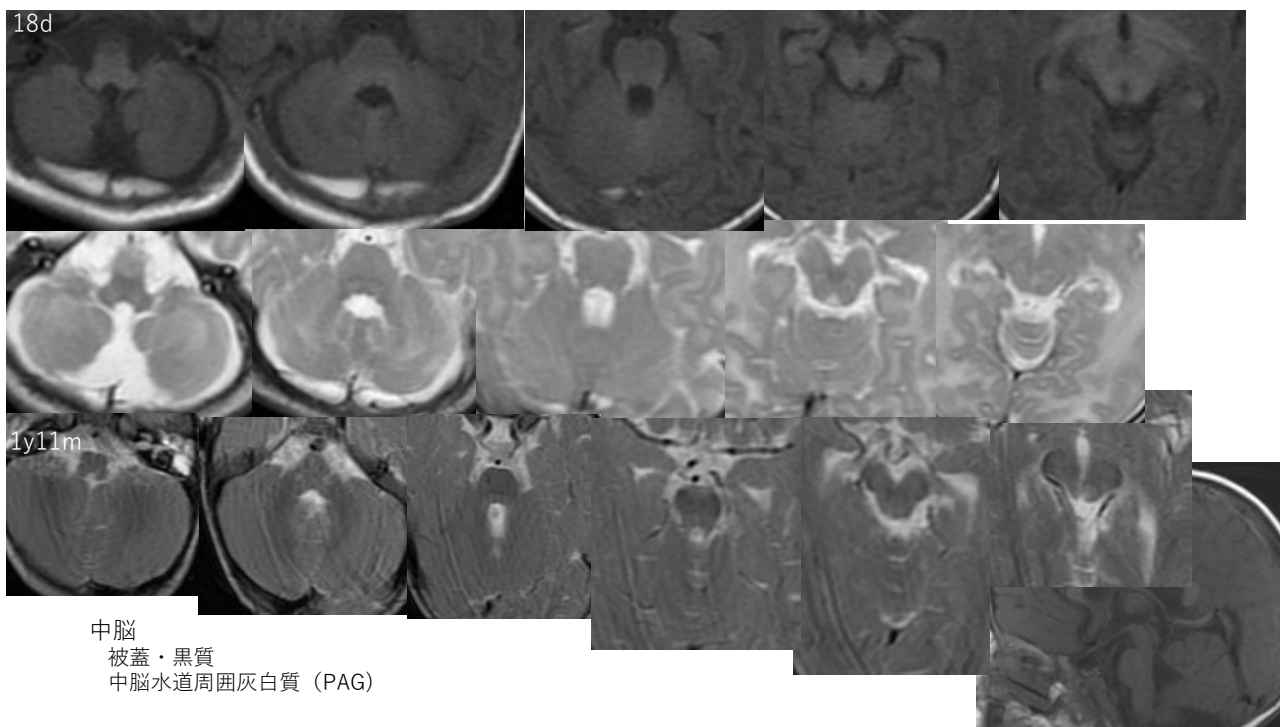
基底核・中脳病変による共収縮肢位固定

✓ 上肢下肢とも股伸展荷重制限の伸展常時筋収縮状態の肢位と同じ

5



6



7



- ・股軽屈曲・内転・膝軽屈曲で固まる
*右股膝少し屈伸あり
- ・上肢は前下出しで固まる
*肘屈曲・肩外転は少し動く
- ・頸体幹伸展で固まり、そこから反りあり
- ・開口で表情筋無動

基底核・中脳病変による共収縮肢位固定

- ✓ 上肢下肢とも股伸展荷重制限の伸展常時筋収縮状態の肢位と同じ

8



下肢肢位の変遷

- ・2mでは右下肢のみ少し動く
- ・右下肢は膝反張り、足背屈外反となる
- ・左下肢は、膝軽度屈曲し、足内反となる

9

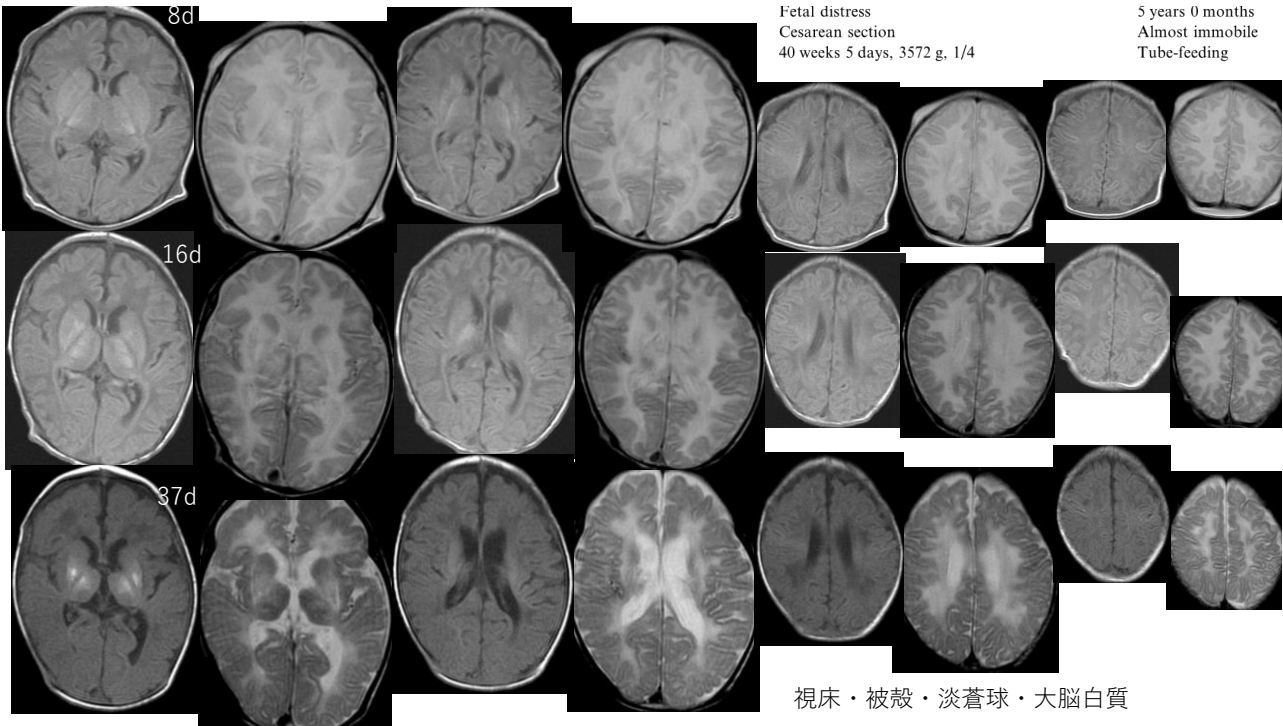


上肢肢位の変遷

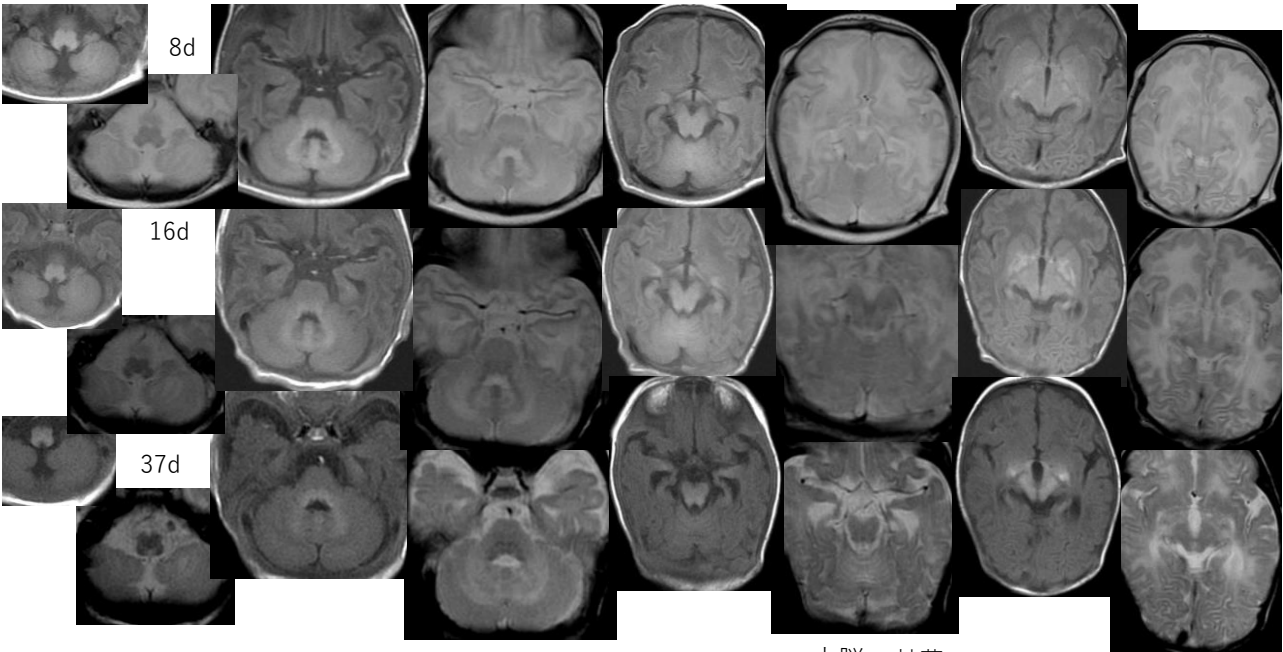
- ・2mでは、両上肢前下方出しで固まり、左上下肢のみ少し動く
- ・肘屈曲の上肢側方出しで固まることも増え、上肢前下出しと共存する
- ・左手で顔こすりもやる

上肢の前下伸ばしと肘曲げ側方出しは
基底核中脳病変の共収縮固定位

10



11



12



13

Total asphyxiaの運動障害

- 上下肢は固定位をとる *頸体幹は動く
- 固定肢位は、股伸展荷重制限・伸展常時筋収縮状態に股屈曲過活動・屈曲常時筋収縮が重なったものとして理解できる
- 固定位からの少し動きうる。それは共同運動と肩回旋運動にあたる
 - *共同運動は強い共収縮に由来し、分離運動制限にはあたらない
- 顔面筋も無動となる

14